



砂浜で彫刻を作った学生たち

八戸

保育士目指す学生 砂浜で彫刻づくり

八学短大こども
教育学科が実習

八戸学院大短期大学部
こども教育学科は19日、
八戸市鮫町の白浜海岸で
砂浜彫刻実習を行った。
保育士などを目指す1、
2年生約125人が参加
し、子どもの喜ぶ姿を思
い浮かべながら、仲間と
協力して立体的な造形を

作り上げた。
地域の自然文化に触れ
ることをテーマにした授
業の一環で、2006年
度から毎年実施してい
る。

学生は九つのゼミごと
に分かれ、アニメなどに
登場するキャラクターや
バスデーケーキを題材
にした彫刻作りに挑戦。
砂に海水を含ませて形を
整え、流木やウニの殻、
タンポポなどを飾り付け
て子どもたちの興味を引
く作品に仕上げていた。

リンゴと絵本「はらぺ
こあおむし」に登場する
青虫を完成させた石上陽
菜さん（19）Ⅱ2年Ⅱは
「子どもが楽しめそうな
作品をみんなと作ること
ができた。これからの実
習に生かしていきたい」
と笑顔。

松谷楓華さん（19）Ⅱ同
Ⅱは「八戸の自然をどう
遊びにつなげられるかを
考えられた。子どもの気
持ちに寄り添える保育士
を目指していきたい」と
話していた。（千葉達也）